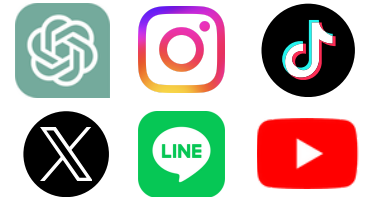




AI・DX人材育成研修

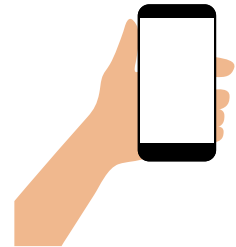
LMSを用いたe-learningでの研修です。組織内でデジタルを活用できる人材や環境を育成します



1

多彩なカリキュラムからDX推進に必要なスキルを修得!

業務改善やデジタル化を進める為に必要な思考法や組織についての入門セミナー、自社内の業務自動化や新規顧客価値創出に役立つスキルアップ講座など、多彩なカリキュラムをご準備しております。



2

学習サポートと管理者から見える学習管理

動画での学習は自発的な学習が求められるため孤独感を感じやすくなりますが、受講者の学習状況を把握し、学習を後押しします。LMS（学習マネジメントシステム）搭載により、管理者ページからはアカウントの管理や各受講者の受講状況も確認可能なため、進捗状況を管理することができます。

3

無理なく学習可能

学習期間中は、何度でも視聴して学びなおせます。マニュアル無しで直感的に操作できるため使いやすく、日々多忙な従業員の方でも大きな負担をかけずに無理なく受講が可能です。

4

受講記録レポート機能 学習修了後に終了証発行

管理者ページからはアカウントの管理や各受講者の受講状況を確認できるので、簡単に学習進捗を把握可能です。コース修了後には修了証を発行します。

AI・DX人材育成研修 【DX担当者のためのExcel活用・業務改善講座】

VLOOKUPなどの関数を使った処理や、ピボットテーブルを活用したデータ分析、ノーコードツールを使ったアプリ開発やデータ処理を学び、業務の効率化・社内のDX化を目指します。

Excelが使える！とはどんな状態か

©exlist

- ・機能をすべて知っている
- ・関数をたくさん知っている
- ・マタロが使え

- ➡
- ・欲しい情報(データ)を欲しい形で取得できる。
 - ・手作業を減らし、計算ミスをなくすことができる。

16

上級関数 - SUMIF / AVERAGEIF -

excel07_Practice.xlsx
条件つき集計・比べ替え
©exlist

各商品ごとの「売り上げ金額」や、「平均購入数」を「売上履歴」シートのデータから計算してみましょう。

The image shows two Excel spreadsheets. The left one is titled '商品別売上レポート' and has columns for '商品名', '売上金額', and '平均購入数'. The right one is titled '売上履歴' and has columns for '日付', '店舗', '商品名', '単価', '個数', and '小計'.

39

四則演算

excel01_Practice.xlsx
©exlist

G2セルに単価と個数を乗算して“小計”を計算してみましょう。
このような計算を行う式のことを「数式」と呼び、数式をセルに入力する場合は、先頭に“半角イコール”を入力して計算式を記述します。

The image shows an Excel spreadsheet with columns A to G. Row 2 contains the formula '=E2*F2' in cell G2, which calculates the product of the unit price (E2) and the quantity (F2) to get the subtotal (G2).

38

どんどん広がるノーコード開発

©exlist

ノーコード開発は、従来型の開発に比べて大きな工数の削減が可能になり、要件さえ定義できれば誰でもある程度のアプリを作れるようになりました。



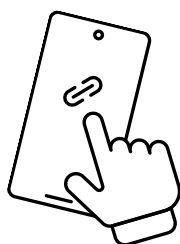
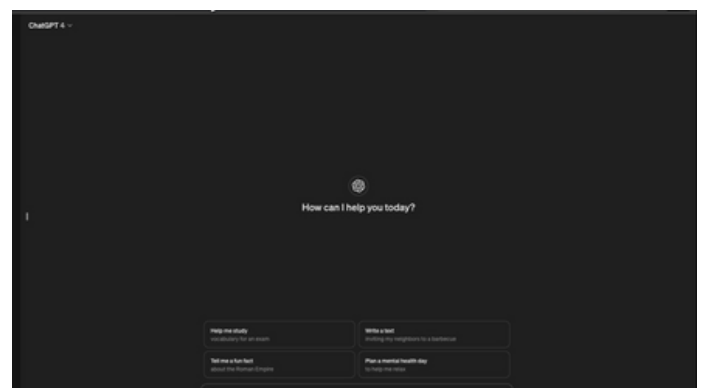
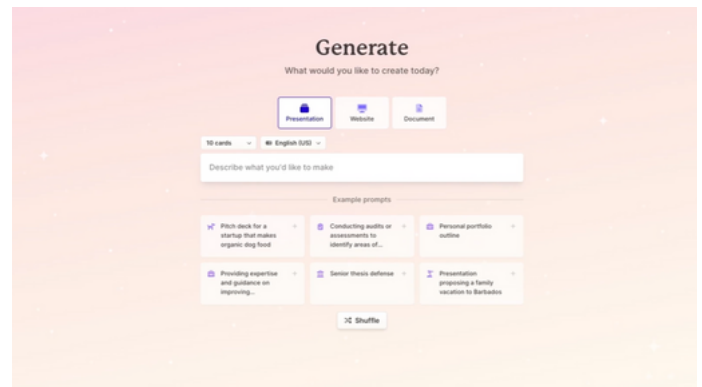
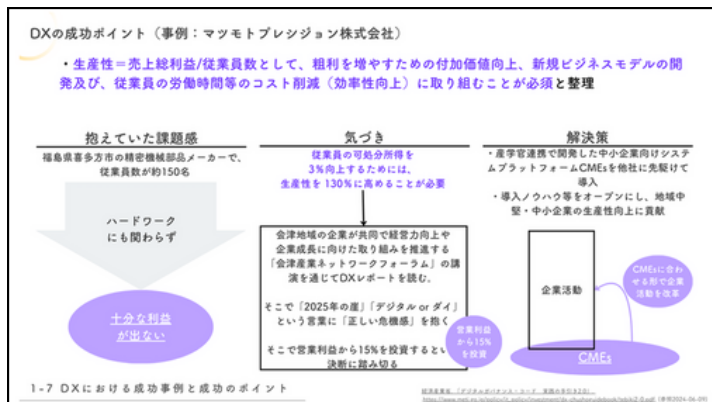
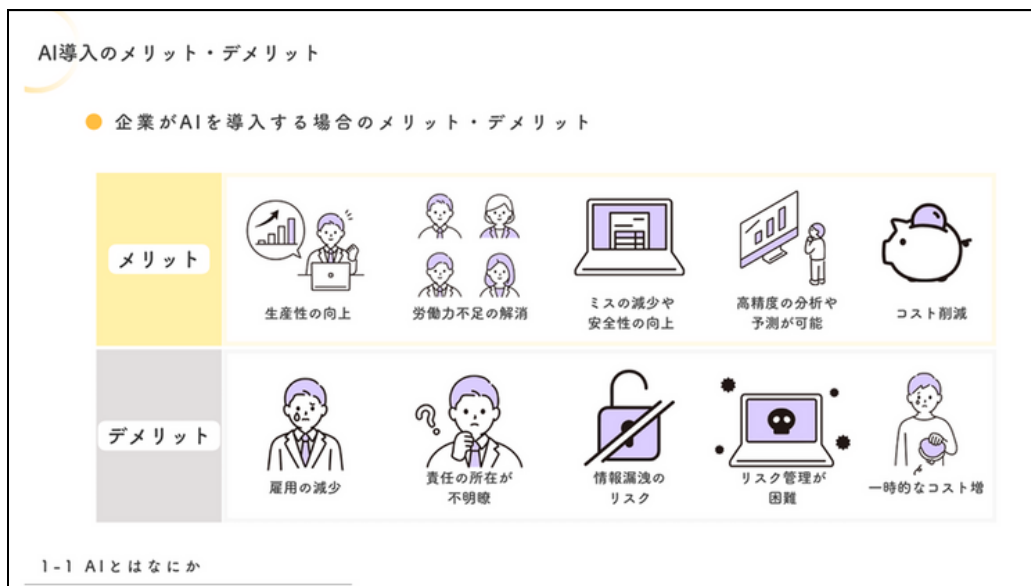
ノーコード・ローコードツールで削減

7



AI・DX人材育成研修 【DX担当者のためのAI講座】

様々な生成AIを活用しながら、業務の効率化・社内のDX化を目指します。



AI・DX人材育成研修 【DX担当者のためのローコード活用編】

ローコードツールを使ったアプリ開発やデータ処理を学び、業務の効率化・社内のDX化を目指します。



DXと開発

開発が必要な理由

DXにIT開発が必要な理由
デジタルトランスフォーメーション（DX）を成功させるために、IT開発が必要となります。
理由は以下の通りです：

- カスタマイズと専門性
 - 高度なカスタマイズ：企業ごとに異なるニーズやビジネスプロセスがあります。既存のツールでは対応しきれない独自の要件を満たすためには、カスタム開発が必要です。
 - 専門性の高い機能：特定の業界や企業独自の専門的な機能を実現するためには、専門的なプログラムを開発する必要があります。
- 複雑なシステム統合
 - 既存システムとの連携：多くの企業は既存のシステム（ERP、CRMなど）を持っており、新しいシステムと統合する必要があります。このためには、データの移行やAPIの開発など、複雑な統合作業が必要です。
 - データの一元化：異なるシステムからのデータを統合し、一元的に管理・分析するためには、統合プラットフォームの開発が求められます。
- 高パフォーマンスとスケーラビリティ
 - 大規模データの処理：大量のデータをリアルタイムで処理・分析する場合、専用の高性能なシステムが必要です。これには効率的なアルゴリズムや最適化されたコードが求められます。
 - スケーラビリティ：企業の成長に伴ってシステムがスケーラブルであるようにするためには、柔軟なアーキテクチャ設計とインフラ構築が必要です。
- セキュリティとコンプライアンス
 - 高度なセキュリティ要件：企業データを保護するためには、高度なセキュリティ対策（暗号化、アクセス制御など）が必要です。これはカスタム開発によるセキュリティ機能の実装が求められます。
 - 規制遵守：特定の業界や地域における法的・規制要件を満たすためには、専用のコンプライアンス機能の開発が求められます。

ノーコード or ローコードでDXが進められる理由と方法
一方で、ノーコードツールを利用することでDXを進めることも可能です。その理由と方法を説明します：

- 迅速なプロトタイプと構築
 - すぐに試せる：ノーコードツールを使うと、プログラミングの知識がなくても、直感的な操作でアプリケーションを迅速に作成できます。これにより、アイデアをすぐに検証できます。
 - 低リスクでの試行：プロトタイプを短期間で作成し、実際の運用で試行錯誤を繰り返すことで、リスクを最小限に抑えながら最適なソリューションを見つけ出すことができます。

GASの説明

1. GASとは

Google Apps Script (GAS) は、Googleが提供する簡単なプログラム言語です。これを使うと、GmailやGoogleスプレッドシートなどのGoogleのアプリを自動で操作できるようになります。プログラムを使って、手作業では時間がかかることを自動化することができます。

ポイント：

- 自動化：繰り返し行う作業を自動で行えます。たとえば、毎日メールをチェックして特定の内容のメールをラベル付けなどの作業です。
- 統合：Googleのいろいろなアプリを一緒に使うことができます。たとえば、Googleスプレッドシートにデータを入力し、それを使ってGoogleカレンダーに予定を自動で追加することができます。
- インフラの管理不要：サーバーの設定やメンテナンスが不要です。

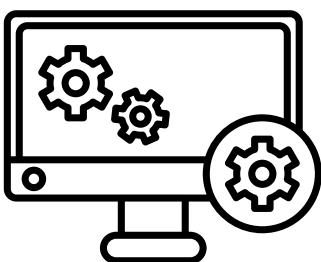
自動化の具体例

- メールの自動ラベル付け：毎日受信する大量のメールを手動で整理するのは大変ですが、GASを使えば、特定の条件に合うメールに自動でラベルを付けることができます。

```
javascriptコードをコピーする
function autoLabelEmails() {
  var threads = GmailApp.search('subject:レポート');
  for (var i = 0; i < threads.length; i++) {
    threads[i].addLabel(GmailApp.getOrCreateLabel('レポート'));
  }
}
```

- スプレッドシートの自動更新：スプレッドシートに毎日手動でデータを入力する代わりに、GASを使って自動で更新することができます。

```
javascriptコードをコピーする
function updateSpreadsheet() {
  var sheet = SpreadsheetApp.getActiveSpreadsheet().getActiveSheet();
  sheet.appendRow(['新しいデータ', new Date()]);
}
```



◆受講のお申し込み方法

- ・ 弊社HPのお問い合わせフォームよりお申し込みください。
- ・ 内容を確認後、受講申込書とご入金案内をお送りいたします。
(連絡がない場合は、再度お問い合わせください。)

◆受講料について

- ・ 受講料は1プログラムにつき
400,000円(税抜)/1名 となります。
- ・ お支払い方法は銀行振込のみです。
(振込手数料は御社にてご負担ください)
- ・ 研修受講開始前までのお支払いをお願いします。

◆受講期間について

- ・ 受講期間は原則1か月となります。
(受講期間を延長されたい場合は、お申込み前にご相談ください)
- ・ お申し込みの際に受講スタート日をご選択いただけます。

運営会社
株式会社BUZZ SP

お問い合わせ先
info@buzzsp.jp

所在地
東京都千代田区神田佐久間町3-21-89-3階